

新聞を配ることは、
気を配ること。

毎日、誰よりも早く起きる。

朝というより、まだ夜中だ。

台風の前も、大雪の前も配り続ける。

毎日のご褒美は夜明けの空だ。

普通の毎日が普通に始まるために、
配達員は今日も走る。

山陰中央新報一四〇周年